

ウィズ通信

「できたらいいな、こんなこと！！」



絵：きむらなおこ

職場や学校、地域や家庭で、これっておかしいと思う「社会のしくみ」に出会う場面はたくさんあるでしょう。でも、それを変えようと考えたり、実際に行動に移す人はほとんどいないのではないのでしょうか。

「よのなかを変える」方法はいくつかありますが、その1つは政治に働きかけることです。「市民が政治を動かす」なんてムリだと思いませんか？最近では、市民と自治体が協働するという動きはめずらしいことではなく、これは市民が政治に参画する最も簡単な方法だといっていいかもしれません。

昨年度ウィズせつつでは、市民にジェンダーの視点を持って政治に参画することを具体的にイメージしてもらいたいと「男女共同参画マニフェスト」を募集しました。よりよい暮らしを手に入れるために、自分たちの力でまちづくりを進めていくとしたら・・・と考えると、やってみたいことが次々に思い浮かぶのではないのでしょうか。

まずは誰かとしゃべってみる、同じようなことを考えている人とつながってみる、それはもう立派に参画の第一歩です。あなたの「できたらいいな」がどうすればかたちになるのか、一緒に学んでいきましょう。

☆ウイズせつつ村 村長選挙☆ 男女共同参画マニフェスト募集 「できたらいいな、こんなこと!!」報告

ウイズせつつでは「できたらいいな、こんなこと!!」を合言葉に、平成28年7月1日(金)～10月31日(月)の期間、住み続けたいと思えるまちづくりのための男女共同参画マニフェストを募集しました。男女が性別にとられずそれぞれのよさを活かせる、みんなで助け合い責任を分かち合う、そんな社会を実現しようと15点のマニフェストが寄せられました。応募のあった全マニフェストについては、ウイズせつつホームページで公開しています。

<http://with-settsu.jp/manifestolist2017.pdf>

※マニフェストとは・・・選挙の際、政党などが発表する「具体的な公約」のこと

講座「マニフェストって何だ!?～政治を変えれば、暮らしが変わる～」 平成28年6月25日(土)

元河南町議会議員の大門晶子さんを講師にお迎えし、河南町初の女性議員であった経験を軸に、男女共同参画と政治との関わりについてお話いただきました。今の社会のひずみを解消するには男女共同参画社会の実現が不可欠なこと、政治を考える上で税金の使い道に目を向けることが必須であること、自分たちの暮らしの基盤である法に対してもっと興味と関心を持ってほしいこと・・・。お母様の介護と議員活動を両立されてきた実体験に基づく内容に、「政治は日常生活の延長線上にある」ことを実感しました。



男女共同参画マニフェスト募集

平成28年7月1日(金)～10月31日(月)

18歳からの選挙権が行使されることをきっかけに、男女共同参画を切り口にして政治を考えよう、と始まった男女共同参画マニフェスト募集。たくさんの方々の様々な「できたらいいな、こんなこと!!」から、摂津をよりよくするための熱い想いを知る機会となりました。



男女共同参画マニフェスト市民投票の実施

平成28年12月6日(火)～15日(木)

応募のあった15点のマニフェストをウイズせつつ情報室に展示し、来館者に投票を呼びかけました。また、マニフェストを応募された方の中には、この企画について広報して下さる方もおられ、市民投票期間はウイズせつつを利用されたことのない市民の方が多数来館され大盛況でした。1つ1つのマニフェストに対して、たくさんの方々の意見や感想が寄せられました。この市民投票の結果をふまえ、村長1名・副村長2名を選出しました。



☆男女共同参画マニフェスト☆ウイズせつつ村 村長・副村長の発表とスピーチ

ウイズせつつフェスタ2017 オープニングにて

平成29年3月4日(土)

村長 樋口隆さん

『私が村長になったら、空き家を有効利用した居場所づくりをします。』

老若男女がいつでも自由に入出りでき、経験・体験・知恵を活かして充実した時間を過ごせる場所をつくりたい。それを、今問題になっている空き家を使って運営することができたら・・・と考えました。地域全体で子どもや高齢者を支えながら、お互いを大事にし合える空間をつくりたい。空き家を持ち主に代わって管理することで、災害・犯罪の防止や環境悪化の抑制になり、高齢者の利用が増えれば、介護保険の削減につながり、介護離職の防止策にもつながります。「こんなんしたい」を持ち寄って、利用したい人も運営したい人も、みんな集まれ!!



副村長 上溝幸子さん

『私が村長になったら、村長の家のリビングを月に1回つどい場として開放します。』

男女共同参画マニフェストに応募したことをきっかけに、ウイズせつつカレッジと一緒に学んだ人たちと「すこやか広場」と名づけたつどい場を自宅ではじめました。これまで2回開催し、1回目は5名、2回目は9名の参加がありました。軽食を持ち寄りして、わきあいあいと楽しい時間を過ごしています。参加者の人たちと「すこやか広場」の約束ごとを決め、宣伝もしていきたいと思っています。多世代が集まる場所、セーフティネットの場所として継続して運営していけたらいいなあと思っています。



副村長 竹田雅次郎さん

『私が村長になったら、「主婦」という呼称を「家事師」に変更します。』

男女共同参画社会の実現には、女性の社会進出を増やすことが不可欠だと思います。そのためには、まず女性の家事負担を軽減すること。そこで、看護婦という呼称が看護師となり、男女の垣根が低くなったことに着目しました。家事は女性がするものという決めつけ的な印象をもたらす「主婦」という呼称を「家事師」とし、家事は男だってするものだということを明確にします。そして「当たり●●のクラッカー」のように、家事をごく自然に男女で協力し合い分担し合える新風土をつくりたい。これで、女性の社会進出が増えること間違いなしです。



性別や年齢、障がいなどの偏見や差別がない社会、誰もが自分らしくイキイキと生きられる社会、安心して安全で心も体も健康でいられる社会、不当なガマンや限界を超えたがんばりを強要されない社会・・・。
あなたの思い描く「男女共同参画社会」とはどんな社会ですか?その実現のために、私たちにできることを考えてみませんか?

ウイズせつつでは今年度も、男女共同参画の視点で政治を考えるセミナーを開催します。共に学んで「男女共同参画のまち摂津」の実現のために進んでいきましょう。

たくさんの方々の素敵なマニフェストのご応募、ありがとうございました!!



男女共同参画から考えるまちづくり ～政治を学んで、暮らしを考えよう～

講座予告！！

男女共同参画の視点でまちづくりを考えることが、必要なのはなぜか？自分たちのまちを住みやすくするために、市民としてできることはどんなことか？身近な問題から「政治」や「政策」について考え、まちの未来についてみんなで語ろう！！

日時：平成29年8月8日（火）午後1時30分～4時

場所：男女共同参画センター交流室

講師：大村華子（関西学院大学総合政策学部 准教授）

定員：20名

*1歳6カ月から就学前児までのお子さんの一時預かりあり



参考図書*ウィズせつつ情報室にあります



「若者が選挙に行くと、ホントに政治が変わるの？」
現職国会議員と高校1年生の息子との問答集。

きみがもし選挙に行くならば
息子と考える18歳選挙権
古川元久/集英社



情報力、論理力、構想力、実現力、組織力、営業力、数字力の7つの技術を具体的に解説した、まちを経営するための教科書。

まちで闘う方法論
自己成長なくして、地域再生なし
木下斉/学芸出版社

政治にはあまり関心のなかったママからの目線で行政への疑問を取り上げ、行政に働きかけていく方法を解説！！



あなたのまちの政治は案外、あなたの力でも変えられる
五十嵐立青/ディスカヴァー・トゥエンティワン

「ふつうの人」が、ふつうに「政治」を動かしていった実例と、今すぐやれる「あなたが社会を変える方法」を紹介。



社会をちょっと変えてみた
ふつうの人が政治を動かした七つの物語
駒崎弘樹、秋山訓子/岩波書店

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつは・・・

性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。

性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



「ウィズ通信」は、年に2回、発行します。

編集・発行

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL: 06-4860-7112 FAX: 06-4860-7113

URL: <http://www.with-settsu.jp/> e-mail: danjyo@with-settsu.jp

●開館時間：月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日：水曜日・祝日・年末年始

2017年6月発行